

MITSUBISHI

三菱屋外取付形ダクトファン(台所用)

V-23ZVS₂

取付説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ず、この取付説明書をお読みください。

取付工事はお買い求めの販売店、または専門の工事店が実施してください。

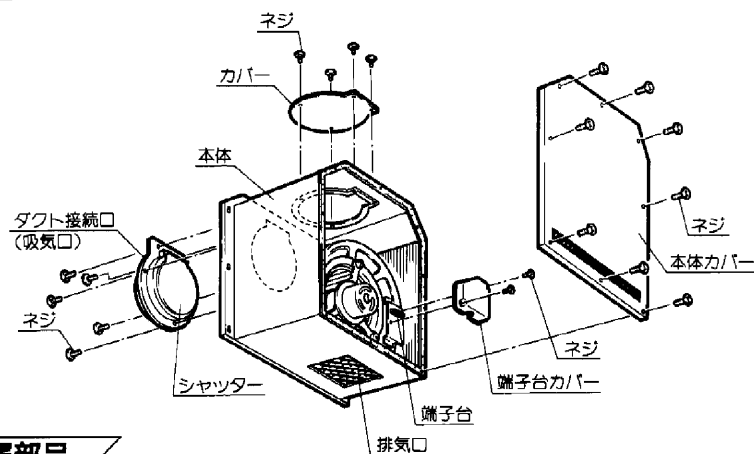
別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡してください。

この製品は屋外取付です。屋内側に別売部品の吸込グリル(P-18HGF)または、キッチンフード(P-60H)を取付けてください。

■この製品には市販品の埋込スイッチが必要です。

■接続ダクトはφ150(6番管)のアルミスパイラルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。

1. 各部の名称

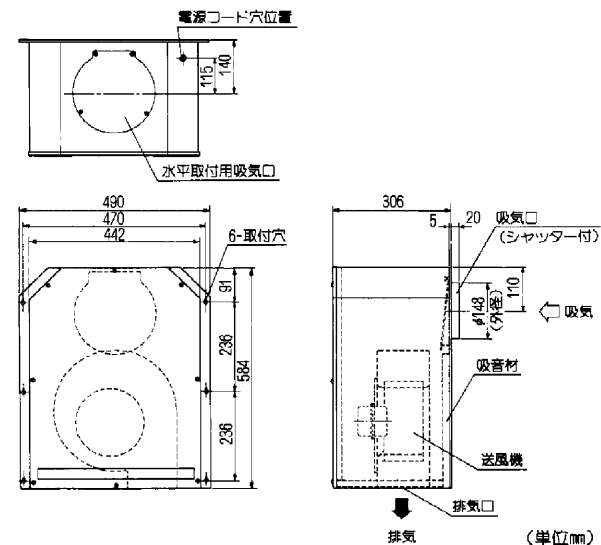


付属部品

取付工事を始める前に付属部品を確認してください。

- 木ネジ.....6本
- ワッシャー.....6個
- タッピングネジ.....4本
(別売部品ウェザーカバー取付用)
- クッション.....1本

2. 外形寸法図



(単位mm)

3. 別売部品

防火ダンパー、煙逆流防止ダンパー、ジャバラ
 パイプ継手(シャッター付、差込み式、バンド式)
 パイプ接続アタッチメント、補助グリル、吸込グリル、キッチンフード

4. 特に注意していただきたいこと

換気扇の取付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。

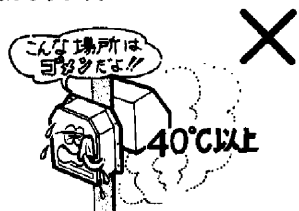
- 換気扇及びダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属張りなどの金属部分に直接触れないようにしてください。漏電の恐れがあります。(電気技術基準による)
- ジャバラの使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 接続ダクトは、ステンレス鋼板または亜鉛鉄板の耐熱性、耐食性のある不燃材を使用してください。塩化ビニール管は火災予防条例などにより使用できません。

4. 特に注意していただきたいこと つぎ

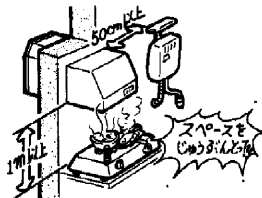
取付場所

取付場所が悪いと性能を発揮できないばかりか、故障の原因にもなります。

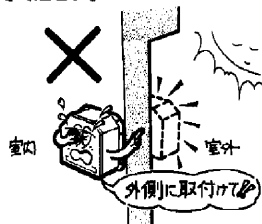
- 屋内側吸込温度及び、換気扇を取付けた付近の温度が40℃以上になるところは避けてください。高温で使用されますと、製品の变形やモーター焼損の原因になります。



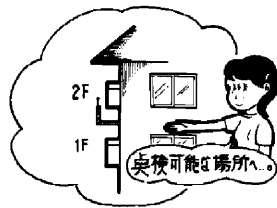
- 屋内側吸込グリルは火元より1m以上、ガス湯沸器より側方へ50cm以上離して取付けてください。廃ガスによる腐食・塗装面のサビの原因となります。



- 換気扇は屋外の直接雨水のかからない軒下などに取付けてください。



- 保守点検のできる場所に取付けてください。



- 密閉された建物では汚れた空気を排出するとき、新鮮な空気の入るところが必要です。吸込グリルの反対側に空気取入口を設けてください。

取付

- 取付けが不十分ですと危険です。また振動・異常音の原因になります。製品重量に耐えるよう取付方法に従って取付けてください。



- 土壁、モルタル壁、軒下などに取付ける場合は補強板を取付けるなど補強工事をしてください。

- 換気扇を取付けた天井には、必ずダクト接続部が点検できる保守点検口を設けてください。
- 配線工事は専門の工事店へ依頼し、電気技術基準に基づいて行ってください。
- 換気扇を水平取付けした場合、排気口より雨水などの浸入を防ぐためウェザーカバー(別売部品)などを取付けることをおすすめします。
- 換気扇の取付方向は水平取付け、垂直取付けがありますがいずれの場合もシャッターが開いてしまう取付けはしないでください。

ダクト工事

- ダクトはφ150の不燃材のものを使用してください。塩化ビニール管は使用しないでください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

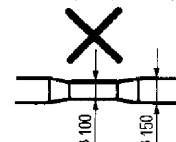
- 極端な曲げ(90°以上曲げないでください)



- 多数の曲げ(曲げ数が多くなれば風量低下します。)



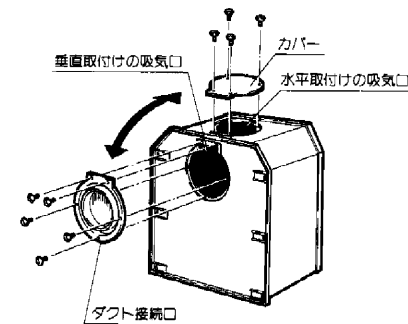
- 接続ダクト径を極端に小さくする(しほり)



5. 取付方法

1. 建物及び部屋の位置により換気扇取付位置と屋内吸込グリル取付位置を決めます。
2. 換気扇の取付位置により垂直取付けと水平取付けができます。ダクト接続口は工場出荷時、垂直取付けになっていますので、水平取付けの場合は、ダクト接続口を付換えてください。

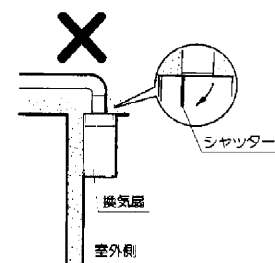
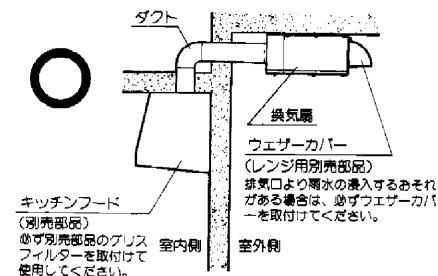
- (1) ネジ5本を外してダクト接続口を取外します。
- (2) ネジ4本を外してカバーを取外します。
- (3) ダクト接続口を水平取付け位置の吸気口に取付け、カバーは垂直取付け位置の吸気口に取付けます。



ご注意

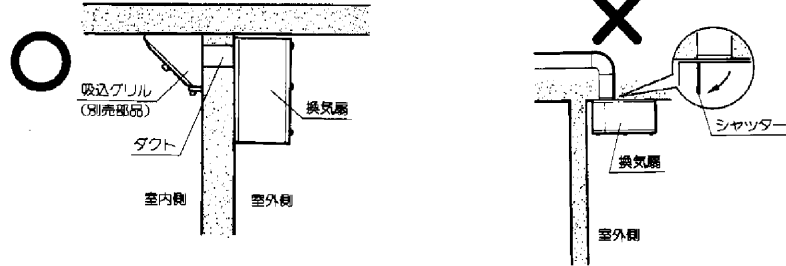
- ダクト接続口の外周に風漏れを防ぐため、付属のクッションを貼付けてください。

■水平取付けの場合



5. 取付方法 つづき

■垂直取付けの場合

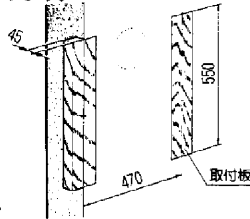


※ダクト接続口が上部になる取付けは行わないでください。ダクト接続口のシャッターが開いたままになり風が逆流します。

3. 取付ける壁の種類により下記のような準備をしてください。

■板張りの場合

- 板厚が20mm以上の場合は直接取付けます。
- 板厚が20mm以下の場合は取付板で下図のような補強をして取付けます。



■土壁の場合

- 取付板を柱などに固定します。

4. ダクト配管します。

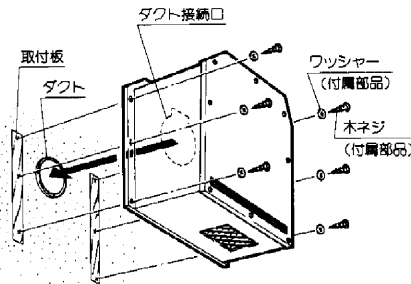
- 屋内側吸込グリルから屋外へダクトを配管します。

【ご注意】

- 取付板を使用して取付ける場合、換気扇は壁に密着しません。ダクト配管を露出寸法だけ長くしてください。

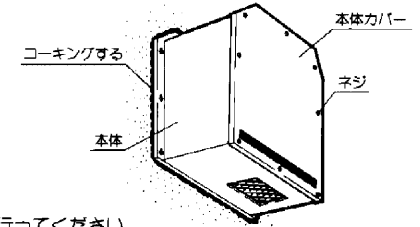
5. 本体を取付けます。

- (1) 付属の木ネジ(6本)・ワッシャー(6個)で壁・取付板に本体を取付けます。
 - 埋込ボルトによる場合はナットでしっかり固定してください。



5. 取付方法 つづき

- (2) 本体と壁とのすき間を市販のコーキング材で埋めてください。



6. 電気工事をします。

- 専門の電気工事店へ依頼し、電気技術基準に基づいて行ってください。

- (1) 本体カバーのネジ(8本)を外して本体カバーを取外します。

- 本体カバーには落下防止用チェーンが付いてい
- ますので引掛金具より外します。

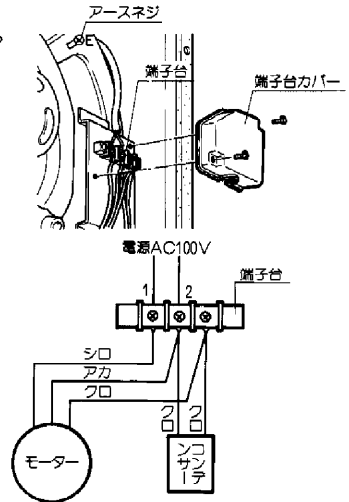
- (2) 端子台カバーのネジ(2本)をゆるめ、端子台カバーを外します。

- (3) 本体上部の電源コード穴(ゴムブッシュ)より電源コードを通し、端子台に接続します。(結線図参照)

- (4) 端子台カバーを取付けます。

- (5) アースネジを使用しアース工事を行ってください。

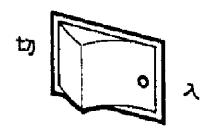
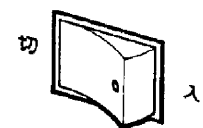
- (6) 本体カバーを元通り取付けます。



6. 試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。

この製品は市販のスイッチで運転操作してください。

換気する場合	止める場合
壁スイッチを「入」にしてください。	壁スイッチを「切」にしてください。
切  入	切  入

三菱電機株式会社

〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)






8710A@R
588H54912

安全のために必ずお守りください





- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を△警告・△注意の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	△注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
------------	----------------------------------	------------	------------------------------------

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

	禁		分解禁止		水場での使用禁止		指示に従い必ず行う		アース線接続
--	---	---	------	---	----------	---	-----------	---	--------




△警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●交流100V以外では使用しないでください。 (火災や感電の恐れがあります) ●浴室換気扇でも内釜式風呂を据付けた浴室には取付けしないでください。 (排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります) ●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 (ショートや感電の恐れがあります) ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しはしないでください。 (爆発や引火の恐れがあります)
	<ul style="list-style-type: none"> ●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人に行わないでください。 (火災・感電・けがの原因となります)
	<ul style="list-style-type: none"> ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造造物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付けてください。 (漏電した場合発火することがあります) ●電球を交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。 (感電することがあります)
	<ul style="list-style-type: none"> ●湿気の多い場所ではアースを確実に取付けてください。 (故障や漏電のときに感電することがあります)

※上記は換気扇全般を示しています。該当する事項を確認して必ず守ってください。

安全のために必ずお守りください

△注意

	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室内に壁スイッチを設けしないでください。 (感電の恐れがあります) ●直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所では使用しないでください。 (火災の恐れがあります)
	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室換気扇以外は、浴室など湿気の多い場所には取付けしないでください。 (感電および故障の原因となります)
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。 (落下によりけがをすることがあります) ●部品の取付けは確実に行ってください。 (落下によりけがをすることがあります) ●取付けの際は手袋を着用してください。 (けがをすることがあります) ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。 (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

※上記は換気扇全般を示しています。該当する事項を確認して必ず守ってください。

換気扇：販売店・工事店さま用

裏面にも注意事項がありますので必ずお読みください。